

研究情報公開

受付番号	24-07
研究課題名	骨折患者の抑うつ改善は日常生活動作の回復と関連する
研究機関	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座（共同研究機関）
研究実施者	リハビリテーション療法部 作業療法士 荒木俊二
研究の背景・目的・方法等	<p>[研究の目的] 本研究は Geriatric Depression Scale15 (GDS15) を測定し、抑うつ症状の変化と日常生活動作の回復との関連を検討する。</p> <p>[研究の方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対象となる方 当院に入院した骨折患者様 ●利用するカルテ情報（調査データ） 該当期間：2018年8月1日～2023年1月31日 年齢、性別、骨折のタイプ、Charlson comorbidity index (併存疾患指数), 入退院時 Geriatric Depression Scale15(抑うつ検査), 入退院時 Body Mass Index(身長と体重から算出する体格指数), 入退院時 Mini- Mental State Examination(認知機能検査), 入退院時 Functional Independence Measure（日常生活自立度評価）, 在院日数, 1日あたりの平均リハ量, その他, 研究をおこなうにあたり必要なデータの収集を行う。 ●カルテ情報の利用方法 上記のカルテ情報は、患者様の抑うつ症状の変化と日常生活活動の回復との関連を分析する材料とします。 <p>[個人情報の取り扱い] 利用する情報からは、お名前、住所など、患者様を直接同定できる個人情報は削除します。また、課題研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。加えて、個人情報は他の研究機関への提供はなく、対応表の研究機関間での授受もありません。</p>

	<p>[情報の他の研究機関への提供および提供方法] 本研究で取得した情報は、他の研究機関への提供は行わない。</p> <p>[情報の二次利用] 本研究で取得した情報の利用は、本研究のみに限る。二次利用は行わない。</p> <p>[研究資金および利益相反] 本研究に係る研究経費はございません。 本研究は、各研究機関の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとする。</p> <p>[各機関の研究代表者] ちゅうざん病院：荒木俊二 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座：近藤毅</p>
研究期間	承認日（2023年6月）～2028年12月